

令和2年度

社会福祉法人安堵町社会福祉協議会事業報告書

社会福祉法人
安堵町社会福祉協議会

令和2年度事業報告 概要

「だれもが住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指して、当協議会が担うべき地域福祉の推進を進める中において特に、地域包括支援センター運営受託・介護予防事業・地域での支え合い活動の推進、生活支援体制整備等を重点的に事業展開してきました。これにより、地域住民の主体的な活動の参加と協力を得ながら、複雑化、深刻化する地域での福祉課題や生活課題の解決に向けて、各種関係機関、団体、行政と連携し、地域包括ケアシステムの深化において当会の役割を果たすため、より地域に密着した拠点となるよう努めました。

地域で安心して暮らしていくためには、様々な社会保障制度だけではなく、地域での支え合いやつながりづくりが重要です。制度では解決できない暮らしの中の困りごとや課題の解決に向け、生活支援コーディネーターが中心となり、地域住民の主体性を引出しながら、声かけ合い、助け合いのしくみを共に考え、生活支援体制の整備に努めて参りました。

また、5人に1人が認知症の時代と言われている中で、「認知症になっても地域で安心して暮らせるまちづくり」として、若いうちから認知症の正しい理解を深めるやさしさ教育の一環として、安堵中学校でのサポーター養成講座や啓発活動を行いました。

赤い羽根共同募金・日本赤十字社資募金活動等については、地域住民の皆様による活動へのご理解のもと、目標達成額に近づけることができました。

地域包括支援センターの運営については、コロナ禍における通いの場での活動についての注意喚起、介護予防については、専門職の協力を得ながら、健康づくりのガイドブックを作成し、住民への啓発と支援を行いました。

介護保険事業においては、長らく続けてまいりました訪問介護事業に引き続き、居宅介護支援事業においても本年度をもって廃止となりましたが、今後も、利用者が引き続き、住み慣れた地域でできる限り、自立した生活を送りながらサービスが利用できるように、様々なサービス機関と調整し、滞りなく引継ぎを行うことができました。

事業実施状況

【法人運営事業】

1. 社協総務運営(庶務、経理、理事会、評議員会等の運営)

理事会

第1回	令和2年5月27日(水)
第2回	令和2年9月28日(月)
第3回	令和3年3月19日(金)

評議員会

第1回	令和2年6月12日(金)
第2回	令和2年10月7日(水)
第3回	令和3年3月30日(火)

監事の監査

第1回	令和2年5月20日(水)
-----	--------------

評議員選任・解任委員会

第1回	令和2年5月28日(木)
-----	--------------

2. 広報・啓発活動

各地域での活動の紹介や、ボランティアの情報、社協の活動や情報の記載、地域包括支援センターの紹介等を掲載し、情報発信を行いました。

- ・社協広報誌「あんど社協だより」の発行

令和2年5月	87号
令和2年9月	88号
令和3年1月	89号

- ・ホームページ公開(<http://andoshakyo.com>)

3. 募金運動の推進

国内外の災害などに対する募金や日本赤十字社、共同募金会事業に対する募金活動の支援を行いました。

- ・日赤募金運動の推進・活動支援

「日本赤十字社へ送金」

- ・令和2年7月豪雨災害義援金 **16,852** 円

- ・共同募金

「中央共同募金会へ送金」

- ・令和2年7月豪雨災害義援金 **218** 円

【地域福祉推進事業】

1. 小地域福祉活動(ふれあい・いきいきサロン)の支援

各大字の公民館において、体操やレクレーション、お出かけ等、地域毎に様々な自主活動をされていましたが、コロナ禍で、活動自粛されている地域が多くありました。令和2

年7月8日に第1回サロン代表者交流会を開催し、コロナ対策をした上での開催方法などの周知を行いました。コロナが収束しない中での開催方法や活動内容については、今後の課題となっています。

各サロン開催状況

サロン名	開催日	開催場所	参加人数
東安堵あくなみサロン	第2水曜日	東安堵集会所(南)	15～20名
西安堵ふれあいサロン	休止	西安堵公民館	
下窪田ふれあいサロン	第3木曜日	下窪田自治会館	5～8名
岡崎あすなろ会	毎月15日	岡崎公民館	20名
笠目サロン	第3金曜日	笠目公民館	15～20名
かしの木台日の出サロン	第4金曜日	かしの木台集会所	15～18名
小泉苑いずみの会	第3木曜日	小泉苑公民館	20～25名
柿の里・若草の里いきいきサロン	第3火曜日	柿の里団地集会所	10～15名
柿の里女性サロン	第2金曜日	柿の里団地集会所	10名程度
柿の里ダンディ	第1火曜日	柿の里団地集会所	10名程度
若草の里サロン	月1回日曜日	若草の里集会所	10名程度
窪田(上・東・北)わかばサロン	年1回日曜日	上窪田公民館	30名以上
ほっとあんどサロン	第4火曜日	福祉保健センター	20～25名
新法隆寺・興人サロン・ナデシコ	偶数月第1月曜日	福祉保健センター	25～30名
あつみ台なでしこサロン	第3水曜日	交流館なでしこ	20～25名

2. 生活困窮者への自立支援事業

緊急性を要する生活困窮者に対して、生活保護制度利用等決定に至るまでの間の緊急時には、生活福祉資金の貸付へと繋いだり、その日の食べる物がないなどの場合は、食糧支援を行いました。

また、令和2年度より、もったいないを無くす活動として、フードバンク奈良より提供いただいた食材を、生活にお困りの方や、地域の活動で必要な方への提供をおこないました。

生活福祉資金相談件数	6件
生活福祉資金貸付件数	3件
コロナ生活福祉資金貸付件数	53件
生活困窮者自立支援事業 (フードレスキュー支給)	2件
食のたすけあい支援件数 個人	10件

地域	18 件
----	------

3. 共同募金事業

10月より募金増強月間に全戸募金の協力を大字区長・自治会長にお願いし、町内の各施設等に募金箱を設置し、皆様のご協力により下記の金額を共同募金会へ送金させていただきました。

目標額	491,000 円
実績額	501,742 円

4. 団体育成事業(関係機関及び各種団体との連携)

民生児童委員、安寿会連合会、身体障害者会、赤十字奉仕団、遺族会、保護司会、町内ボランティア団体(おはなし会ねこじゃらし・手話サークル葉の会・運動普及ボランティア・ネットあんど協働たい等)の活動推進、県やその他からの情報や助成金等の事務等の支援を行いました。

・民生児童委員協議会の年間活動の支援

年間事業内容	
定例委員会	11 回
施設見学、研修	1 回
生活福祉資金制度の支援協力	随時
独居高齢者調査の協力	随時
施設ボランティア実施の支援	10 回
5/12 民生児童委員の日活動強化週間支援	中止
生駒郡連合会研修会への参加	1 回
関係機関への会議協力	随時

・安寿会の年間活動の支援

年間事業内容	
支部長・本部役員会	4 回
町内美化運動	2 回
菊花展	1 回

・福祉団体育成事務支援

(福祉団体)

民生児童委員協議会・安寿会・安堵町赤十字奉仕団・身体障害者会・遺族会
保護司会
(ボランティア団体)
ネットあんど協働たい・手話サークル葉の会・運動普及ボランティア・おはなし会
ねこじゃらし

5. 社会参加援助サービス事業

手話奉仕員養成講座は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催されませんでした。

6. 療育教室開催事業

心身の発達等について心配のある、満2歳から就学前の幼児とその親を対象に、幼児の遊びを通して身体の発育や知的活動、情緒の安定、社会性の調和的な発達を促し、豊かに伸び行く可能性を引き出せるよう、指導員とともに月3回程度教室を開催しました。

月平均参加児数	5.1名
年間延人数	61名

7. 3人乗り自転車貸与支援事業

子育て多子世帯の経済的な負担を軽減すること及び、外出機会の提供や社会参加による育児不安の解消を図ることを目的とし、子ども支援事業の一環で3人乗り自転車の無償貸与を行いました。

貸出延件数	4件
-------	----

8. ボランティア活動支援・連携

社協ボランティア保険加入件数	活動保険 10件
	行事保険 14件

9. 日常生活自立支援事業

金銭管理のできない高齢者や認知症、精神障害等のある方などに対し、定期的に生活支援員が訪問して日常的な金銭管理を支援しました。必要に応じて福祉サービスの情報提供等も行いながら自立した生活を送っていただけるよう努めました。

延相談件数	5件
利用件数	3件

10. 日赤募金事業

① 日本赤十字社員増強運動

5月の社員増強月間に全戸募金の協力を、大字区長・自治会長へお願いしました。また、町内の各施設等に募金箱の設置をお願いしました。

目標額	881,000 円
実績額	715,163 円

「日本赤十字社法人募金活動サポート」

日本赤十字社奈良県支部と安堵町赤十字奉仕団による企業・法人募金活動を行いました。

募金総額	213,000 円
実施日	令和2年7月17日

② 献血活動事業の支援

町内で年2回実施する献血事業に対し、安堵町赤十字奉仕団と協力して広報、啓発活動を行いました。

実施日	令和2年8月21日
実施日	令和3年2月26日

③ 地域赤十字奉仕団活動促進助成金交付事業

マスク作り	約 600 枚
-------	---------

11. 善意銀行の運営

広く地域住民の善意による預託を様々な地域より受けました。効果的に地域に還元できるよう努めると共に、生活困窮者等への貸付相談にも対応しました。

延相談件数	2 件
貸付件数	2 件
寄付金受入件数	7 件
寄付金受入総額	65,322 円

12. 福祉用具貸出し(車いす)

一時的に歩行が困難で、介護保険での車いす貸出しサービスが利用出来ない方を対象に、無償で貸し出しを行いました。また、共同募金配分金を利用し、車いす4台購入させていただきました。

貸出件数	18 件
------	------

13. 福祉サービス苦情解決

福祉サービス分野に「苦情解決のしくみ」を導入し、苦情解決責任者1名、苦情受付担当者 1 名、第三者委員2名を配置し、ニーズの把握やサービスの質の向上に結びました。

苦情件数	0 件
------	-----

【介護保険事業の運営】

1. 居宅介護支援事業

介護を必要とされる方が、自宅で適切にサービスを利用できるようにケアマネジャー（介護支援専門員）が心身の状況、生活環境、本人、家族の希望等に沿ってケアプラン（居宅サービス計画）を作成し、ケアプランに位置づけたサービスを提供する事業所等と連絡・調整などを介護保険開始当初から行ってまいりましたが、今年度をもって事業は廃止となりました。

・介護サービス計画作成利用者数

要介護 (R3.3 実人数)	0 名
要支援・事業対象者 (R3.3 月実人数)	0 名
年間延利用者数 要介護	258 名
要支援・事業対象者	6 名

・要介護認定・要支援認定調査

介護の申請された方について、安堵町より認定調査の依頼があった場合に、介護支援専門員等が対象の方に対して認定調査を行いました。

年間件数	1 件
------	-----

2. 地域包括支援センター運営事業

独居、高齢世帯、認知症高齢者や様々な問題を抱えた方が増加する中で、できる限り住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、地域包括ケアシステム構築においてはそ

の果たす役割が多く、専門性を相互で生かしながら総合相談や支援体制の充実を図るよう、関係機関と連携を行いました。公的なサービスのみならず、住民同士の様々な支え合いサービスなど、地域の様々な資源を最大限に活用し、住民にとって暮らしやすい町づくりを目指しました。

・介護予防支援事業(介護予防サービス計画作成)

利用者(R3.3 実人数)	要支援者	53名
	事業対象者	8名
年間延利用者数	要支援者	640名
	事業対象者	85名
包括担当延べ件数	要支援者	86件
	事業対象者	46件
委託先延べ件数	要支援者	551件
	事業対象者	47件

・総合相談支援事業・権利擁護事業

相談内容・件数

介護に関すること	351件
権利擁護に関すること	36件
ケアマネジメント業務	266件
ケアマネジャー後方支援	241件
認知症に関すること	232件
障害に関すること	72件
入退院に関すること	49件
介護予防に関すること	185件
受診、身体的不調に関すること	78件
生活支援に関すること	44件
その他	134件
総数	1,775件

・包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

安堵カンファレンス	4回
民生児童委員さんとの交流会	中止
生駒郡内介護支援専門員合同研修	2回

・介護予防ケアマネジメント事業

元気アップ教室	30回
いきいき百歳体操	15カ所
地域サロンでの健康相談	24回

・地域ケア会議開催

困難事例会議	6回
自立支援型地域ケア会議	13回
自立支援型地域ケア会議(元気アップ教室検討)	5回

・在宅医療・介護連携推進事業

生駒郡地域ケア会議・講演会	3回
多職種勉強会	1回
市民公開講座	各町の取組み
介護支援専門員合同研修会	2回
退院調整ルールづくり会議 状況調査	1回
退院調整ルールづくり会議 担当者会議	4回
西和メディケアフォーラム合同会議	1回
西和メディケアフォーラム事例検討会	中止
西和地域包括支援センター連絡会ケアマネジメント部会	4回

・認知症総合支援事業

認知症初期集中支援チームにて対応	0回
認知症サポーター養成講座	2回
キャラバンメイト連絡会	2回
見守り声かけ模擬訓練	1回
認知症ケアパスの活用	

①認知症サポーター養成講座

実施日	対象	参加人数
令和2年10月27日	生活支援サポーター養成講座	3人
令和3年3月5日	安堵中学校1年生	42人

②チームオレンジ安堵

令和元年度立ち上がったチームオレンジ安堵は、コロナ禍において、主な活動であるカフェの中止が続き、今出来る活動について定期的な話し合いの場を持ちました。勉強会や介護事業所の見学やスキルアップ、チームオレンジの活動の啓発や、認知症の方や家族の居場所づ

くりを進めていくことで合意しました。また、チーム立ち上げからコロナ禍での活動について、奈良県高齢者福祉計画及び第8期奈良県介護保険事業支援計画の先進事例としての掲載や京都市町村認知症施策連絡会での事例報告を行いました。

会議回数	4回
------	----

③オレンジかふえあんど

チームオレンジ安堵の活動として、認知症に関心のある方なら誰でも参加でき、認知症の方や家族の居場所であるとともに気軽に相談できる場として認知症カフェの開催は、コロナの影響もあり、1回のみで開催となりました。

開催日	参加人数	チームオレンジ参加人数
令和2年11月12日	9名	9名

3. 介護予防事業

「元気アップ教室」(介護予防普及啓発事業)

一時的に筋力、体力等の低下している高齢の方に対し、筋力、体力等の向上を集中的に図り、以前の様な元気を回復することを目的にした教室を6カ月間集中的に開催しました。自宅を訪問し、機能低下の原因や背景について専門職と共にアセスメントし、個別の目標を設定し、機械を使ってトレーニングし、教室卒業後も自分で予防できるような習慣を身につけるよう支援しました。

実施回数(R2.4～R3.3)	30回
延参加人数	119名
事業委託先	奈良厚生会病院

「いきいき百歳体操」(地域介護予防活動支援事業)

自分の身体は自分で守るために、筋力アップ、柔軟、バランス感覚が鍛えることのできる、おもりを使った“いきいき百歳体操”を週に1回、地域住民さん自ら、集会所等で行う活動を支援しました。介護予防と同時に、地域の通いの場づくりへと繋がりました。

実施箇所数	15ヶ所	
参加人数	197名(延べ約8,492名)	
実施回数	約584回	
	かしの木台	毎週金曜日
	小泉苑	毎週水曜日
	柿の里	毎週金曜日
	四弁花(東安堵あくなみ)	毎週月曜日
	笠目	毎週水曜日
	福祉保健センター	毎週金曜日

実施場所	若草の里	毎週土曜日
	上窪田	毎週木曜日
	あつみ台	毎週水曜日
	岡崎	毎週火曜日
	カルチャーセンター	毎週水曜日
	中窪田	毎週月曜日
	特養もちの木	毎週木曜日
	西安堵	毎週火曜日
	下窪田	毎週木曜日

「リハ職派遣事業」(地域リハビリテーション活動支援事業)

リハビリテーションに関する専門職の視点を入れながら、高齢者の介護予防について、その有する能力の評価、改善の可能性などの助言を受けることで、高齢者の自立に向けたケアマネジメント支援を地域ケア会議において行いました。

自立支援型地域ケア会議	13回
自立支援型地域ケア会議(元気アップ教室検討)	5回

4. 生活支援体制整備事業

「生活支援サポーター養成講座開催」

困った時はお互い様を合い言葉に、生活のちょっとした困りごとをワンコインで援助することで、公的なサービスでは対応できない部分の支え合いの仕組みづくりを目指すための人材育成のため、養成講座を開催しました。

	日時		内容
	参加人数		5名
Ⅲ	10/16(金)	10/20(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの理解 ・援助の理解について
Ⅲ	10/26(火)		<ul style="list-style-type: none"> ・老化の理解、栄養 ・認知症の理解 ・支え愛サポーターの活動について
Ⅲ	11/6(金)		<ul style="list-style-type: none"> ・栄養について正しく学ぼう ・救急対応の基礎知識 ・安心して援助ができるために

「地域で支えるボランティアの活動」

・よりそい隊

会議	10回
ボランティア加入者	5名
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・整理整頓と家具移動(2回) ・買い物支援(9回) ・元気アップ教室支援(40回) ・食のたすけあい支援(フードバンク)の仕分け(3回)

・支え愛サポーター

生活のちょっとした困りごとをワンコインで支える生活支援サポーター養成講座を受講され、令和元年12月より支え愛サポーターとして活動をスタートしました。

会議	10回		
ボランティア加入者	サポーター7名 利用会員24名		
活動実績	活動件数	56件	
	内 訳	掃除	17件
		買い物代行	13件
		ゴミ出し(粗大ごみ含む)	1件
		草引き	7件
		病院付添い	1件
		薬の受取り	1件
		年賀状の代筆	1件
		その他	6件

「協議体の開催」

生活支援サービスの充実に向けて、地域における支え合いの体制づくりを推進するために、メンバーを選定し、協議体の第1層、2層に分けて設置いたしましたが、今年度はコロナ禍での開催はありませんでした。